

マネジメントシステムを策定し、事業活動で運用しています。

大成ロテックは、現在、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)および安全衛生マネジメントシステム(SMS)の3システムを社内で運用しています。

その内、システムの運用結果が社外から見やすいSMSは、建設業労働安全衛生マネジメントシステム(COHSMS:コスモス)に基づく自己宣言方式を採用し、管理しています。また、運用の実態が社外に見え難いQMSとEMSに関しては、国際規格ISO9001/ISO14001に基づく外部認証登録を行い、第三者機関からその運用状態の保証を受けています。

QMS/EMS登録の有効期間は3年ですが、大成ロテックは2009年にそれぞれ再認証審査を受け、登録維持の認証を受けました。審査の概要は下記の通りです。

【品質マネジメントシステム(QMS)審査の概要】

審査の実施時期：2009/10/20～10/23

審査結果:不適合所見が出なかったことから、現在の運用状態に変更を加えることなく再認証登録が許容されました。所見には将来的な検討課題への言及もありましたが、品質向上に向けての社内創意工夫事例発表会での技術の水平展開状況や、各業務の管理標準の内容などが効果的なQMSの運用として評価されました。

【環境マネジメントシステム(EMS)審査の概要】

審査の実施時期：2009/11/17～11/20

審査の結果:EMS運用上の手続きの不具合について、軽微の不適合に措置を求められ手続きを取りましたが、環境保全のパフォーマンスに影響するものではなく、再認証が妥当と評価されました。また、同審査では緑化ボランティアへの参画や、再生材工場での防塵対策取り組みなどが効果的な環境保全策として評価されました。

Management system

編集後記

大成ロテック株式会社のCSR報告書をお読みいただきありがとうございます。当社の行っている環境活動をより広いステークホルダーに知っていただくため、2006年に社会環境報告書を発行しました。その後、財務報告以外の企業活動を広く社会に公開していくことが本流となってきた昨今の風潮に鑑み、昨年度よりCSR報告書としてリニューアルして、今年度で第2号となりました。

今年度も昨年同様に各部門の若手社員、女子社員に編集に参加してもらい、ステークホルダーの皆様が目線に近いものを目指すと共に、各部門の活動を熟知したベテランの社員にも参加をお願いして、さらに深く、より解りやすい誌面構成にするように配慮いたしました。

また、現場紹介では、平成22年10月21日に正式な運用が開始された羽田空港D滑走路の工事を取り上げました。日本の空港は、現在ハブ空港化の遅れにより、香港国際空港や仁川国際空港(韓国)などに利用者数でおされています。羽田空港の整備事業はこの問題を解決する切り札であり、このような事業に参加していることを広くステークホルダーの皆様にご覧いただくことにより、当社の活動をより具体的に理解していただけると確信しております。

とはいえ、まだ至らぬ点、ご指摘等多々あることと思います。これらを真摯に受け止め、今後の当社の事業活動、来年度以降の誌面のさらなる充実反映させていく所存ですので、事務局宛にどしどしご意見をお寄せいただければ幸いです。

対象期間: 2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)

対象範囲: 大成ロテック及び関連会社の活動紹介の一部も含まれています。

お問い合わせ: CSR報告書に関するお問い合わせ窓口は、以下となります。

住 所 東京都中央区京橋3-13-1
電 話 03-3567-9431
ファックス 03-3567-8521
電子メール teruo_shiotani@taiseirotec.co.jp
takashi_koike@taiseirotec.co.jp
担当部署 経営企画部 総務部
担当者 塩谷 照夫
小池 隆

当社の活動は、インターネットのホームページでも公開しています。

<http://www.taiseirotec.co.jp/>